

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

未来に向けて新しい価値を創造し、社業を通じて社会に貢献する

② 中長期の経営戦略

1. コア技術の進化

ラミネート技術、コーティング技術、フィルム多層押出し技術の3つのコア・テクノロジーを絶えず進化させ、自社技術の陳腐化に備える

3. 軽包装部門の強化

電子レンジ対応食品包材「レンジD o !」の拡充、医療医薬包材の新製品開発、脱炭素化に向けた環境対応包材の開発

2. 製品ラインアップ拡充

魅力ある製品のラインアップ拡充と高付加価値製品の開発・拡販を推進し、収益基盤の安定化を図る

4. 産業資材部門の効率化

掛川工場WESTへの生産移行と設備統廃合による低コスト構造への転換、グループ全体の生産効率改善

③ 対処すべき課題

① 国内市場の飽和と競争激化

- ・少子化に伴う人口減少で軽包装材料の大幅拡大は期待できない
- ・産業資材分野では国内市場が飽和状態に近く、粘着テープ市場で海外製品の流入が進行
- ・機能性材料のFPD用表面保護フィルムは差別化技術と高付加価値開発が不可欠

② サステナビリティと環境対応

- ・プラスチック包材のモノマテリアル化や紙包材への切り替えが求められている
- ・剥離紙市場ではリサイクルしやすい構成品の検討が進行中
- ・プラスチックごみ減容化への対応が経営課題

③ 経済環境と収益基盤の強化

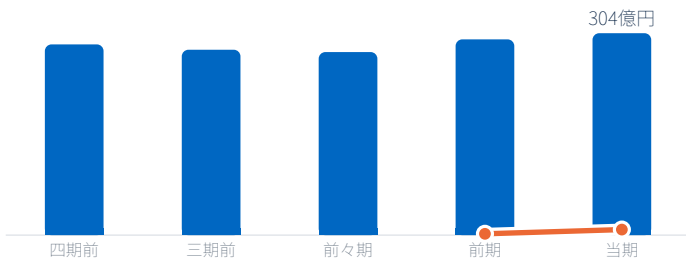
- ・米国・中国の経済減速懸念で実質GDP成長率と企業収益見通しが引き下げられている
- ・円安と材料価格高騰によるコスト増加への対応が課題
- ・消費者の節約志向が根強く、製品値上げと合理化を推進中

面接で使えるポイント

- ・創業80年以上の伝統と、ラミネート・コーティング・フィルム多層押出しの3つのコア技術が競争力源泉
- ・電子レンジ対応食品包材『レンジD o !』で高齢化社会の介護食需要に対応する戦略
- ・レゾナック譲受事業を通じた保護フィルム事業の統合で、クリーン塗工商材など新市場開拓を推進中

証券コード 4234

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
304億円営業利益率
2.8%財務健康度
28点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 47.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
629万円

化学内 146位/204社

平均年齢
44.0歳

化学内 52位/204社

平均勤続
18.0年

化学内 38位/204社

女性管理職
－（未開示）男性育休
100.0%

化学内 22位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: サンエー化研[4234]: 剰余金の配当に関するお知らせ 20

